

くすりと健康のはなし

薬包紙

第46回

一般社団法人岐阜県薬剤師会
東濃薬剤師会

会長 山本有人



さて、皆さんは、薬局というどんなイメージをお持ちでしょうか。この数十年間に薬局のイメージは大きく変わったようです。ここで少しだけ昔の薬局を思い出してみました。薬局に入ると独特な匂いがしたという記憶はありませんか。生薬の棚があって、その匂いがしていたのだと思います。

ところで、その頃の蚊取り線香は何処で買っていましたか。最近ではホームセンターやスーパーでの購入が多いと思いますが、以前は薬局を中心に販売していました。そうですね、昔は伝染病などの感染症が多く発生していましたから、消毒剤（昔は防疫剤とも言われました）や殺虫剤は伝染病を拡げないための重要なアイテムでした。このように薬局は、地域の公衆衛生に不可欠な場所だったのです。

また、皆さんは「日本薬局方品」はご存知でしょうか。ホウ酸団子を作る時の「ホウ酸」「ルゴール液」という喉の殺菌剤の「複方ヨードグリセリン」。シソジュースを作る時の「クエン酸」

少しばかり昔の薬局のお話

などの薬品が売られていました。これらは「日本薬局方」と書かれた薬品です。日本薬局方の薬品はその特性、その見分け方、量りかた等が国でまとめられた書物に収載された薬品です。実は殆どの医薬品が、ここに収載されています。ちなみに、「ブドウ酒」も日本薬局方で矯味剤として用いられます。

夏休みの子どもさんの宿題では様々な薬品が使われました。特にビタミンCを検出するための試薬で、「インドフェノール試薬が欲しい」という方がいて、よく勉強されているなど驚いた事がありました。

少しばかり古い薬局のお話をしましたが、現在でも薬剤師たちは生物・化学が大好きです。薬品の成分の事で疑問や相談があったら、是非薬局で相談してみてください。もちろん病院の薬の事、介護の事なども尋ねてみて下さい。最近では血液検査を行う薬局もあります。きっとあなたのかかりつけ薬局」として、親身に相談に乗ってもらえると思います。